



令和2年のお盆施餓鬼の記念としてお配りした散華

# 古佛眼山 龍蔵寺

## 龍蔵寺 寺報

マハーバーラタはヒンドゥー教の重要経典の一つで、世界三大叙事詩の一つともされる聖典です。マハーはマハトマ・ガンジーのマハと同じで偉大などという形容詞。バーラタはインドを統一した部族名で、この聖典はバーラタ族の内部抗争をテーマに、生き方や宗教的な教えを叙事詩の形式で伝えていきます。

この詩がいうように、不幸は人の世の常であり、不幸があるからこそ幸福もあるわけです。そう考えると不幸な時期は、幸福をえるための耕作の期間であり、嘆いたり焦ったりする必要はなく、時が至るのを待つことの大切さを教えてくれます。

耕作のあり方は人それぞれであるかと思いますが、いずれは時が至り、実を結ぶと信じ、時として御仏の力も借りながら、困難を乗り越えていきたいものです。

住職 高口洋瑞

『マハーバーラタ』(3・245・15)

幸福が訪れたらそれを楽しみ、不幸が訪れたらそれに耐えよ。耕作者が作物の収穫期を待つように、時が至るのを待つべきである。

昨年来のコロナ禍がなかなか収まりませんが、無事過ごされている方も、色々なご苦労をされている方も、本年がより良い年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

長老が好きで、しばらく本堂にも掛けていた言葉に

## 令和三年のご挨拶

## 境内堂宇の補修・整備計画と報告

檀信徒の皆さまのお声をお聞きし、境内の改善に取り組んでいます。施主としてご寄進されたい方は寺務所までお申し出ください。長寿の報恩、感謝、回忌法要の記念に。それぞれに記銘し、30万円以上のご寄進は本堂にもお名前を記し、末永く顕彰させていただきます。

### 龍蔵寺会館改修工事

法事の待ち合わせや会食にご利用頂いている龍蔵寺会館ですが、築二十年を経て外装材の劣化が目立ってまいりました。また和式トイレの洋式化やバリアフリー、車椅子利用への対応なども、ご要望を頂くようになりました。

そこで、本年中に庇の補修、トイレの洋式化、車椅子利用者用トイレの新設、スロープの設置などの工事を行いたいと考えております。併せて長老、先々代が収集した仏教に関する書籍を檀信徒の皆様が手に取れるよう、書棚も設置予定です。予算は五〇〇万円を予定しております。ご支援ご寄進頂けましたら幸甚に存じます。一口一万円から。寺務所までお願いいたします。

### 二十三夜堂改修工事

二十三夜堂は、建立が本堂よりも古く、境内最古の建物とされています。阿彌陀様の脇侍を務める勢至菩薩様をお奉りするお堂で、

檀信徒による度々の修理を経て現在に至っています。勢至菩薩はあらゆる人々を照らし、智慧の力で苦しみから救う仏様です。転じて月の化身とされ、お堂の名前の由来でもある二十三夜講の御本尊とされました。このお堂は墓地を利用しない信徒のための納骨堂として改修を進めています。

### 俱会堂御本尊様建立

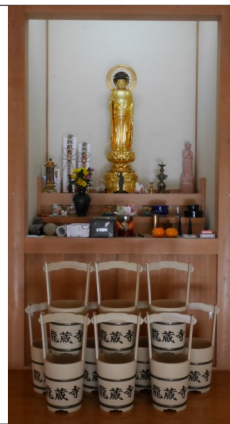
檀信徒のご寄進により、費用の目処が立ちましたので、現在設置段取りを進めています。開眼法要もさせていただきますので、その際はご案内させていただきます。



天井画の破損状況

### 水桶の共用化

お陰様で、水桶を四十個程新調することができました。一月以降、置かれていた水桶は共用とし、痛んでいるものから順に入れ換えさせていただきます。



### 本堂天井画応急修理

本堂天井画の剥離が酷く、仏具屋さんにお願ひして応急措置をして頂きました。本堂建立時に描かれたもので、同じく一六〇年以上が経過しています。糊が劣化とに、紙も硬化して触るとバラバラになってしまいう状態でしたが、何とか天井に張り付けてもらいました。

### 本堂照明整備

本堂外陣、本尊裏が暗く、掃除にも不自由していただきましたので、照明やコンセントを新たに取り付け、使い勝手を良くしました。

### 令和三年 法事 年回表

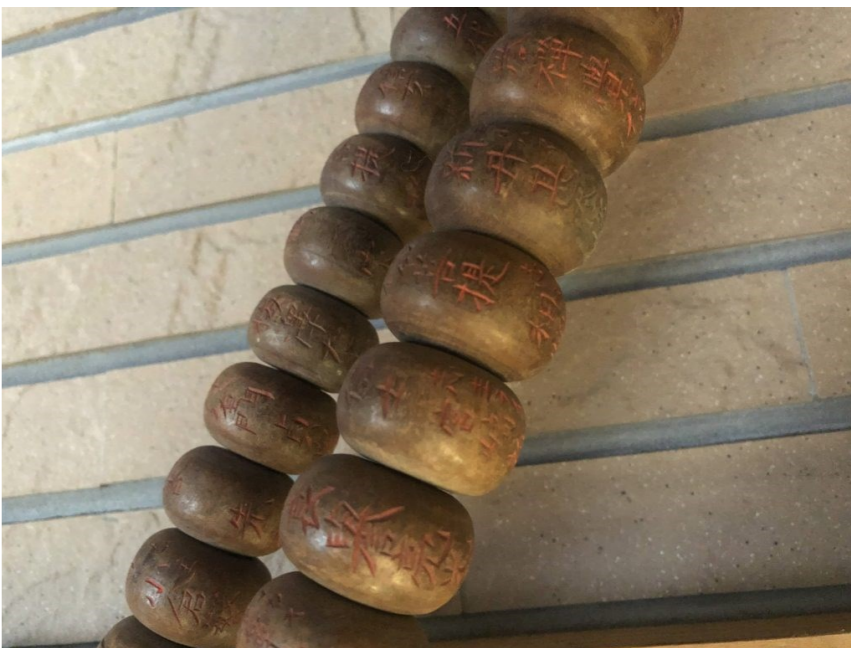
一周忌	令和二年 (二〇二〇)
三回忌	令和元年 (二〇一九)
七回忌	平成二十七年(二〇一五)
十三回忌	平成二十一年(二〇〇九)
十七回忌	平成十七年(二〇〇五)
二十三回忌	平成十一年(一九九九)
二十七回忌	平成七年(一九九五)
三十三回忌	平成元年(一九八九)
五十回忌	昭和四七年(一九七二)
七十四回忌	昭和二十七年(一九五二)
百回忌	大正十一年(一九二二)

ご法事は二ヶ月前を目途にご相談ください。志主卒塔婆(五千円)、追加のお花(一对一万円)は二週間前を目途にお申込ください。申し込み用紙は龍蔵寺ホームページからもダウンロードできます。

ご法事当日は、龍蔵寺会館に集合され、会堂(俱会堂もしくは本堂)に、開始予定の十分前にご移動ください。位牌、お写真もその時にお持ちください。龍蔵寺会館で会食をされる場合は、係の川嶋さんにご相談ください(電話:〇四八〇一六一〇八九二 金土日のみ)。

古佛眼山眼山 龍蔵寺

〒三四七-〇〇六八  
埼玉県加須市大門町一八一五一  
電話:〇四八〇一六一〇八五〇  
Fax: 六二一七九〇〇  
メール: info@ryuzoji.jp



## 明治の百万遍大念珠

昨年、本堂の片付けをしていると、ばらばらになって半ば朽ちた状態の百万遍大念珠を見つけました。百万遍大念珠は百万遍念仏を修する時に使う特大の数珠です。極楽往生、先亡追善、攘災招福を願ひ集まり、大念珠を皆で繰りながら、百万回のお念仏を称えます。長老に聞いてもこの念珠には見覚えがないとのこと。捨てるわけにもいかず、洗って修理することにしました。

親玉には、増上寺七十八世の銘が見え、

## 念仏一会

毎月、第一日曜日にお念仏の会をします。お念仏をした後は、参加者と境内のお掃除をします。称してテンブルモーニング。別に私が命名したのでなく、こういうことを最近はその呼ぶのだそうです。

ずっとお念仏をしているわけではなく、日常修行集という毎日の読経用に各種の長いお経を要約した偈文を集まった皆様と読んでいます。お経を読むことを読経というように、お経を憶える必要はありません。日常修行集は本堂にありますのでそれを使います。般若心経を読んでおしまい、大凡三〇分程度でしょうか。日常修行集は寺務所でもお分けしています。

お念仏とは「南無阿弥陀仏」と繰り返し称えることです。南無はインドのサンスクリット語の「ナマス」を音写したもので、「帰依する。一切をお任せする」という意味です。ですから南無阿弥陀仏は阿弥陀様に帰依する、阿弥陀様にお任せします、という意味になります。

日常修行にも法事にもお葬式にも、「南無阿弥陀仏」というフレーズが頻繁に出てきます。導師が十回連続して称える十念。皆で十念を称えましょうという同称十念。一同に会して回数に制限なく称える念仏一会、節付きで礼拝しながら行う三唱礼など、回数を変えスタイルを変え、阿弥陀様に一切をお任せします！と繰り返し称えているわけです。しかしいったい何をお任せしようというのでしょうか。

主玉の一つ一つには、おそらく寄付をしたであろう私たちの先祖様の名前が彫られています。調べると増上寺七十八世は山下現有上人で、増上寺で二度法主を務め、百万遍知恩寺や知恩院の門主も務めた偉い方でした。明治の混乱期に浄土宗を建て直した偉大な先人です。

この山下上人が七十八世として増上寺の法主を務めていたのは、明治三十年（一八九七年）〜三十五年（一九〇二年）です。で、おそらくこの大念珠もその頃に作られたものではないかと思えます。

しばらく俱会堂に飾っておきますので、ぜひ百二十年前のご先祖様の名前を探してみてください。ちなみに龍蔵寺には二〇年ほど前にも大念珠を發願し、一揃えご寄進頂いています。いつか百万遍念仏を修し、いずれも活かしたいと思っています。

(二〇二二年一月十三日)

## 令和二年大晦日の除夜の鐘

当山もコロナの影響で色々ありました。が、無事除夜の鐘を撞き、新年を迎えることができました。ご支援頂きました皆様には篤く御礼申し上げます。

龍蔵寺では、除夜の鐘を撞きに來られた参詣の皆様、千支みくじをお配りしています。毎年の千支の人形の中に、おみくじが入っています。

(二〇二二年一月一日)

人生にはどうしようもない苦しみや悲しみが必ずあるものです。自分で努力しても上手くいかない。周りと同じくやってもいけない。ただ上向きで上手くできない。より良い人間になりたいのだけれどできない。思いが強ければ強いほど、また苦しみも大きくなるものです。時には自分では消化しきれない苦しみや悲しみに出会ってしまふことがあります。そういつた時の心の叫び、どうか助けてください！それが南無阿弥陀仏であり、一切をお任せしますということの中身です。

たかが六文字の短い言葉です。口にするのは簡単です。しかし、仏様を信じない人にとっては、全くの無為の行為です。意味が分からない。簡単だけれども難しい。だからこそ、お念仏は信仰の告白であり、最も正しい修行と位置づけられているわけです。

そんなことは信じてないけど、称えることくらいには抵抗はない、という感覚の方も多くいらっしゃると思います。それはそれで大いに結構で、その方はきっと、過去世も含む長い輪廻のなかで、それなりのご縁、仏縁があったはず。

南無阿弥陀仏と称えられる人は、信仰の深さに程度の差はあれ、苦しみの中から抜け出したいという願いを持つ方々です。念仏を繰り返し称えることは、信仰の告白であるのと同時に、心を落ち着かせ、自分自身の置かれた状況を観察できるようになる瞑想のトレーニング、今風に言えばマインドフルネスです。

## お寺からのお知らせ

### 当山のコロナ対応

当山での法要につきましては、換気を最大限に確保し、僧侶も参列者もマスクを着用、お堂に入内する際の手指消毒を徹底すること、ほぼ通常通り執り行っております。龍蔵寺会館では、会食の他にお弁当の注文も取り次いでおります。

### 墓地のお求め

境内の整理で新しく造成した墓地を、ご希望の檀信徒にお分けしています。三十万円から。

### お念仏の会 テンブルモーニング

毎月第一日曜日、朝の七時からお念仏とお掃除の会を開いています。月初めの朝を心清らかに始めませんか。一月三日（日）、二月七日（日）、三月七日（日）、四月四日（日）、五月はお休み、六月六日（日）、七月は新盆法要のためお休み、八月一日（日）、九月五日（日）、十月三日（日）、十一月七日（日）、十二月五日（日）

### メルマガのご案内

お寺からの案内を電子メールで配信しています。龍蔵寺のホームページから登録できます。ご家族や後継者への引継ぎにもお役に立ちます。

### 行事・法要

- 一月一日 元日会
- 三月十七日〜二十三日 春のお彼岸
- 五月八日 誕仏会（花祭り）
- 七月十一日 新盆法要・盆施餓鬼木札開眼法要
- 八月一日〜八月三十一日 施餓鬼供養受付
- 九月一日 施餓鬼法要
- 九月二十日〜二十六日 秋のお彼岸
- 十二月三十一日 除夜会（十一時開始）

### 龍蔵寺ホームページ ruzoji.jp

本寺報、法事のお申込用紙、連絡先の追加登録用紙など、ホームページからもダウンロードできます。



令和2年の除夜の鐘

お念仏の会や法事、ご葬儀でお念仏がありましたら、ぜひご一緒にお念仏頂ければと存じます。

(二〇二〇年十月十五日)

※日付はHPで公開した日です。